**第１８回（平成２８年度）**

岩手県　　　　（りんご）

　　　りんご（昭和５７年設立）

（代表者　　）

りんご272haを栽培する109戸のJA部会であり、平成27年産の共同出荷量は2,071トン、出荷額は約7億円である。

りんご生産農家のほぼ100％が加入し、摘果、剪定の現地講習会の開催や新品種の実証圃の設置、取引先との調整、女性部「アップルレディース」による販売PR活動等を担っている。

主力の「サンふじ」の糖度基準を県指標より高く設定し、熟度、蜜入り等の基準も設けて選果基準を厳格化し、高品質果実を全国に出荷して「江刺りんご」の知名度を高めている。他産地との出荷競合による価格下落を回避するため、１－MCP処理による長期貯蔵に取り組み、翌年5月までの長期出荷で販売額を増加させている。16年生以上の樹は毎年５％程度の計画的な改植を進め、生産基盤の安定強化を図っている。地域団体商標として「江刺りんご」を登録し、ワインやジュースの加工にも取り組み、りんごジュースは「伊勢志摩サミット」でおもてなし品として選ばれた。

省力化と早期多収化を目指し全国に先駆けて確立してきた「わい化栽培技術」や、「ふじ」とJM7の組み合わせによる高品質生産技術は全国に普及している。近年の１－MCP処理技術や極早生品種「紅ロマン」の導入は当部会が先駆けて取り組み、県内他産地にも広がりをみせている。消費者の収穫体験や各種イベントの開催を通じて農業理解と地域活性化にも大きく貢献している。

（農林水産省生産局長賞を受賞しました）